

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成15年～			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	01 子育て支援
事務事業名		11 子育てネットワーク活動支援事業	問 担当課(室) こども課 答 職・氏名 子育て支援係長 岡本洋子 電 話 0869-64-1853

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	子ども及び子育て家庭
目 的 (何のために)	家庭の子育てが低下している中で、子育て支援グループ関係団体等で構成するネットワーク「あおぞら」等活動を支援し行政との連携を図りながら地域に密着した子育てをしやすい環境づくりを推進する。
行 政 活 動 (どのような方法で)	子育てネットワークの支援やネットワークが地域で実施する意見交換・交流事業等の支援を行うと共に、意見の聴取や子育ての相談に応じる。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	子育て支援グループ等子育て関係者が交流することにより、ネットワークが地域に根ざした子育て支援ができるようになる。

事業の実績						
活 動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
	ネットワークきらきら会議外活動回数	回	9	12	10	
	きらきら構成団体数	団体	15	15	15	
	ネットワークあおぞら会議	回			1	
	あおぞら構成団体数	団体			9	
実 績	直接事業費	千円	0.10人	730	0.18人	1,215
	必要人員	人			0.06人	549
	事業費	千円		730		1,215
	事業費計	千円		730		1,215
	国 県 支 出 金	千円				
	受 益 者 負 担 金	千円				
	総 入 金 債	千円				
市 債	千円					
そ の 他 ()						
一 般 財 源			730	1,215	549	
受 益 者 負 担 比 率	%					

結果指標					
結果指標①	きらきら構成団体数	説明	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	結 果 指 標 量	団体	15	15	15
	対 前 年 比	%		100.0%	100.0%
	活 動 コ ス ト	円			
結果指標②	ネットワークきらきら会議外活動回数	説明	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	結 果 指 標 量	回	9	12	15
	対 前 年 比	%		133.3%	125.0%
	活 動 コ ス ト	円			
単 位 当 たり コ ス ト	円	0	0	0	

事業の成果					
きらきら構成団体数	成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	到達目標値		20	20	20
	実績値 (B)		15	15	15
		到達目標年度	21年度		
		達成率 (B/A)	0.75	0.75	0.75
成果指標設定の考え方・式や説明					
きらきら構成団体数					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 現在は、就学前児童を対象とした事業の実施や構成団体が多く、今後は年齢にとらわれない一環とした子育て支援をしていく必要があり、対象児童や構成団体の範囲の拡大を図る必要のある。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> 判定理由・課題認識 地域で活動している団体等の連携が図れると共に、行政と協働することで効率的な子育て支援ができる。
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> 判定理由・課題認識 地域の子育て関係者のネットワーク化を図ることにより情報の受発信等について連携が図れ、地域の子育ての向上に繋がる。
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	20	結果指標量②	20	成果指標量	20
状 況	拡 充	○	現 状 継 続		見 直 し	
	縮 小		整 理 統 合		休 止	
説 明	市の事業との連携やネットワークづくりや情報交換等を促進していく。					

総合評価	
子育て関係グループが情報交換や協働することにより身近に子育てのニーズにあった子育て支援活動が期待できる。H20年度にネットワーク「あおぞら」を立ち上げ、今後、子育て支援の活動の連携や拡充が期待できる。	評価区分<A~E> B 妥当性 有効性 効率性

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡 充	○	現 状 継 続		見 直 し	
説 明	改 善 内 容					
	評 価 の 視 点	改 善 内 容		改 善 時 期	改 善 に よ り 期 待 さ れ る 効 果	
改 善 が あ る 場 合	有効性	構成団体の連携の強化が図れる。		毎年	地域に根ざした多様な支援ができる。	